

祝 辞



創造性と魅力ある業界へ

沖縄総合事務局開発建設部

営繕調査官 鬼沢浩志

沖縄県設備設計事務所協会の広報誌『建築設備』の創刊にあたって、一言お祝いの言葉を申し上げます。

日頃、会員の皆様には沖縄総合事務局の業務の実施に、ご理解とご協力を頂きお礼を申し上げます。

最近の国内状況は、国際化、情報化、高齢化の進展など経済社会に大きな変化がみられ、情報の持つ意味の大きさを痛感させられます。とりわけ急速に高齢化が進みつつある中で、真に豊かな社会の形成の為に、社会基盤を整備することが急務であり、今の内に良質な社会基盤の整備を進めていく必要があります。建築分野におきましても、新たなニーズに対応し安全で安価、且つ品質の良い建築物を造ることが求められております。近年の建築物は、インテリジェントビルやFMSに代表されますように、設備技術が急速な進歩を遂げ、高度で複雑な機能を持つものになってきております。一方では、施工の合理化・新技術開発等による建設コストの縮減、建設副産物の抑制・再利用の促進など、国内問題として様々な対応が求められております。さらに地球を取り巻く環境では、オゾン層の破壊、温暖化、酸性雨等の問題が、世界の共通した課題として、日増しに国際世論が高まっております。

これらの諸問題に対しましては、各界各層が一体となって取り組む必要があることは勿論ですが、沖縄県設備設計事務所協会におかれましても、自助努力、技術の研鑽、二十一世紀を担う若手技術者の育成に積極的に取り組まれ、創造性豊かな魅力ある業界を以て、これらに対処していくことが大切であると考えます。

建築設備技術が、極めて多面的、且つ高次元で進歩している中であって、組織に必要な最新の情報を収集し、社会に類し幅広い広報活動を行っていくことが、設備設計に対する関心と理解を深めるためには重要であります。このような観点から、広報誌『建築設備』を新たに創刊されますことは設備設計の資質の向上と共に、会員相互の理解を深める一助となり、誠に時宜を得たものと思っております。

おわりに、沖縄県設備設計事務所協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念し、ご挨拶といたします。



一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会